

第 3 回 人生 8 5 年 ビジ ョ ン 懇 談 会
茂 木 委 員 発 表 資 料

平 成 2 0 年 2 月 1 4 日 (木)

人生85年時代の社会ビジョンを描くために

2008. 2. 14. 茂木 賢三郎

人生85年ビジョン懇談会

人生85年時代～これまでの暮らし、働き方、人生設計が時代に合わなくなり始めている

江戸時代の高齢期における活動

ヨーロッパにおける長期休暇

ラテン系の人生の楽しみ方

～ 現在の日本と異なる文化・価値観・生活様式等も参考に

いきいきと人生を楽しむこれからの日本人の暮らし、働き方、
人生設計のイメージ
それを支える仕組みをどうするのか



働く意欲・体力・能力がある間は、働ける社会の実現
観劇、スポーツ、コンサート、写真撮影、美術館、博物館、歴史探訪、……
宗教（心のよりどころ）、
長い人生（揺りかごから墓場まで）を通じての経済的安心感
(年金システム)
人生終末期のケア

日本という国

- (1) 経済大国 奇跡の経済復興、GNP、人口、生活水準
- (2) 福祉大国 平均寿命、医療制度、乳児死亡率、安心・安全

不安感・閉塞感があるのは何故か？

現在は一応満足な生活が出来てはいるが、自分が世を去ったあとでも、子供たちや孫たちがみな生甲斐や意欲を持って国を運営し、幸せに生きてくれるだろうという安心感、確信のようなものがない。

どんな問題があるか？

1. 少子・高齢化問題
2. 教育に関する問題（学力低下、公教育の劣化、教育コスト、教育格差）
3. 国内治安（犯罪多発、検挙率低下、若者の言動、規範意識、遵法精神）
4. 日本人としての誇り・アイデンティティー、日本の国柄（矜持、社会的公正）
5. 外交・安全保障（核、テロ、領土）
6. 地球環境問題
7. 資源に関する輸入依存体制（食料、エネルギー）
8. 経済社会運営の基本的パラダイム・価値観（競争原理、政府の役割）
9. 国家財政
10. 長い人生（揺りかごから墓場まで）を通じての経済的安心感（年金システム）
11. 人生終末期のケア

昔の方が、たとえ貧しくても、

もう少し充実感・安心感があった？